

EVENTS

2月11日(日)

17:20~18:30

会場/すてっぷ視聴覚室

監督と語りう！
交流会

参加費無料

先着40人

世代を繋ぐシンポジウム

映画は未来へのメッセージ

2月12日(月・休) 14:00開場 14:20~17:30
会場/すてっぷホール

参加費無料



映画監督

山本洋子

1974年『大須事件』で監督デビュー。以降、『夏雲一途さきものへのレクイエム』、『軍隊をすて国』、『明日へ紡ぎつけて』など記録映画の監督の傍ら『わが心の朝』、『ボクちゃんの戦場』、『金色のクジラ』などの脚本を書く。独立プロ名画保存会代表。



ドキュメンタリー映画監督

山上千恵子

1980年代から女性の歴史・文化・活動の記録を女性の視点から作りはじめる。2001年、『ディアタリー』ソウル国際女性映画祭・アジアショートコンペティション観客賞受賞。『山川菊栄の思想と活動一姉妹よ、まさしく疑うことを覚え』、『30年のシスターフッド』など海外でも上映される。



映画監督

浜野佐知

1971年、ピンク映画で監督デビュー。85年映画制作会社「旦々舎」を設立。以後、監督・プロデューサーを兼任し、性を女性の視点で撮ることをテーマに300本を超える作品を発表。『第七官界坊権一尾崎翠を探して』、『百合祭』、『雪子さんの足音』など、海外でも高く評価されている。2000年『第4回女性文化賞』受賞。著者に『女が映画を作るとき』(2005年・平凡社新書)、『女になれない職業』(2022年・ころから)。

登壇者



映画バプリスト

岸野令子

有限会社キノ・キネマ代表。関西を拠点に、映画の宣伝・配給に携わる。特に韓国映画との関わりが深く、釜山国際映画祭には毎年参加。韓国の女性監督や女性を描いた作品に目を向けている。共同配給作品に『金子文子と朴烈』、『チャンシルさんには福が多いね』、『猫たちのアパートメント』。著書に、『世界の映画祭を巡る30年の記録』、『ニチポーとケンチャノヨー私立・映画との出会い方2』(せせらぎ出版)、夏目深雪著『韓国女性映画 わたしたちの物語』(河出書房新社)に執筆、など。



映画研究者・映像作家

園山水郷

パリ第一大学大学院修士課程修了。主な研究テーマは性を描く映画、女性監督による映画、映画のなかで描かれる女性について、など。パリのアヴァンギャルドを代表する作品、モーリス・ルメートルの『映画はもう始まったか?』、『日仏版 神への道』DVD版字幕翻訳を担当。著書に『シネマ・ミリタンと女性映像作家』、『性と検閲—日本とフランスの映画検閲と女性監督の性表現』など。



社会学・ジェンダー研究

坂本知壽子

立命館大学授業担当講師。韓国とフィリピンで元日本軍『慰安婦』生存女性たちの聞き取り調査を行う。著書に『日本の娘たちの経験の同時代性と今日性』、『映画で読み解く東アジア』、『Re-thinking the Japanese Military "Comfort Women" in the Philippines through the Narrative』、『Junctions Between Filipinos And Japanese-Transborder Insights And Reminiscences』、『「尊厳」概念から見直した日本軍「慰安婦」問題』、『女性歴史文化研究所紀要』第14号など。

★主催/一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団
株式会社旦々舎

tantan-s@f4.dion.ne.jp http://tantansha.main.jp

★問合せ/ TEL 06-6844-9773

(すてっぷ講座担当 9:00~17:30 水曜休館)

★一時保育/先着10人(1歳~小学3年生)1人につき各作品、イベントごと550円(税込)
申し込み締め切り2月4日(日) 申込先 tantan-s@f4.dion.ne.jp

★すてっぷホール/大阪府豊中市玉井町1-1-1501 エトレ豊中5F

